

# 第1期埋立護岸に関するお知らせ

## ～アンケート結果について～

平成30年11月

発行／浦安市 都市整備部 都市政策課

今川地区から入船地区に続く第1期埋立護岸（旧護岸）は、昭和55年に千葉県浦安地区第2期埋立事業が終了し、護岸としての役割を終えており、現在も千葉県が所有・管理しています。

旧護岸は埋立て当時の面影を残す一方で、東日本大震災の際に被災し、応急措置はとられていますが、住民のみなさんから、「コンクリートブロックに亀裂が見られ危ない」「撤去すべき」「防音・防風機能として残すべき」など、様々な意見が市に寄せられました。

そこで、平成29年度に旧護岸に隣接する住民のみなさんを対象に「第1期埋立護岸のあり方に関するアンケート」を実施しました。

今回は、住民のみなさんにアンケート結果についてお知らせします。

今後は、住民のみなさんと意見交換をするとともに、千葉県と協議しながら、旧護岸の整備の方向性について検討していきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。



### ■護岸の状況



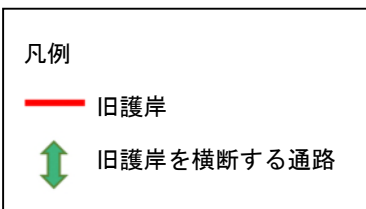
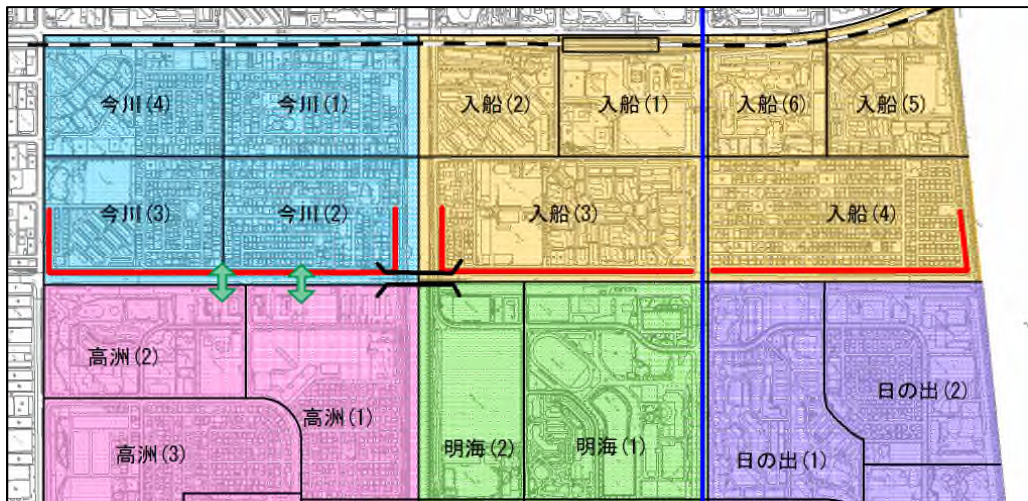
旧護岸を横断できる通路（自転車、歩行者）



災害復旧事業の車両置場として使用したため旧護岸を撤去した場所（今川地区内に3箇所）



震災による損傷や経年劣化が見られ、立ち入りが禁止されている



# 1. 第1期埋立護岸のあり方に関するアンケートを実施しました！

## ■アンケート調査の実施概要

調査期間：平成30年1月16日（火）～平成30年1月31日（水）

調査対象区域：今川自治会、入船リバーサイド自治会、入船中央エステート自治会、入船自治会、さつき苑自治会区域

回収／配布：1,724世帯／4,564世帯（回収率：37.8%）

## ■町別の回収率の状況

町別の回答数は、今川地区が861世帯、入船地区が827世帯でした。回収率でみると、今川地区が約32%、入船地区が約45%でした。

お住まいの地区	回答数	回収率
今川	861	31.7%
入船	827	44.8%
地区不明	36	—
計	1,724	37.8%

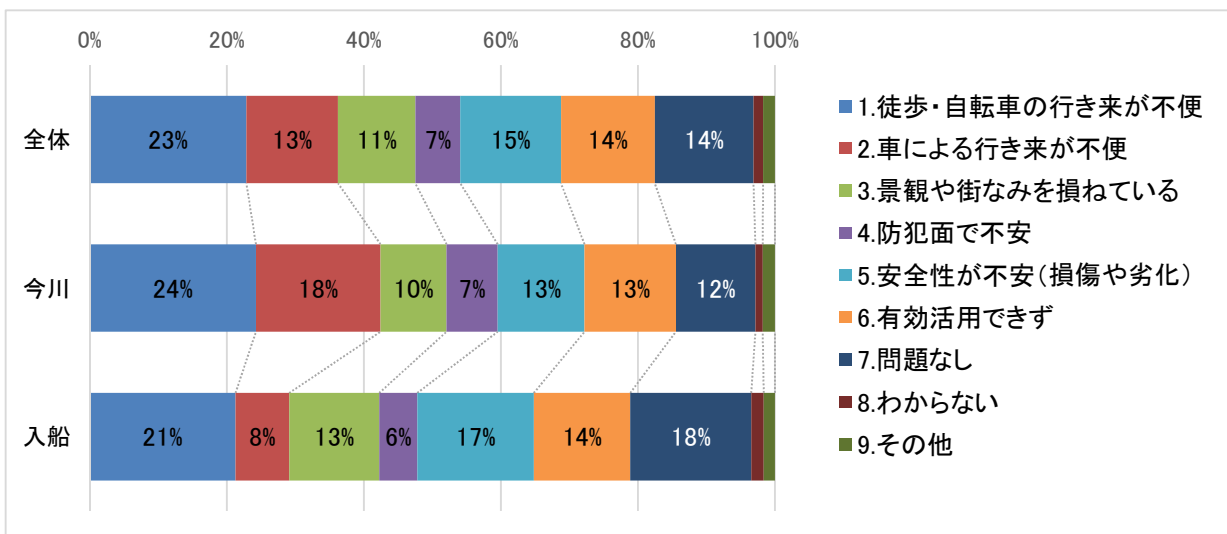
# 2. アンケートの結果をご紹介します！

## 【問1】旧護岸が残っていることによる問題点は何ですか？（複数回答：3つまで）

全体で最も多い意見は、「徒歩・自転車の行き来が不便」であり、2番目以降は「安全性が不安（損傷や劣化）」「問題なし」と続きます。

地区別で最も多い意見は、今川地区・入船地区ともに「徒歩・自転車の行き来が不便」です。

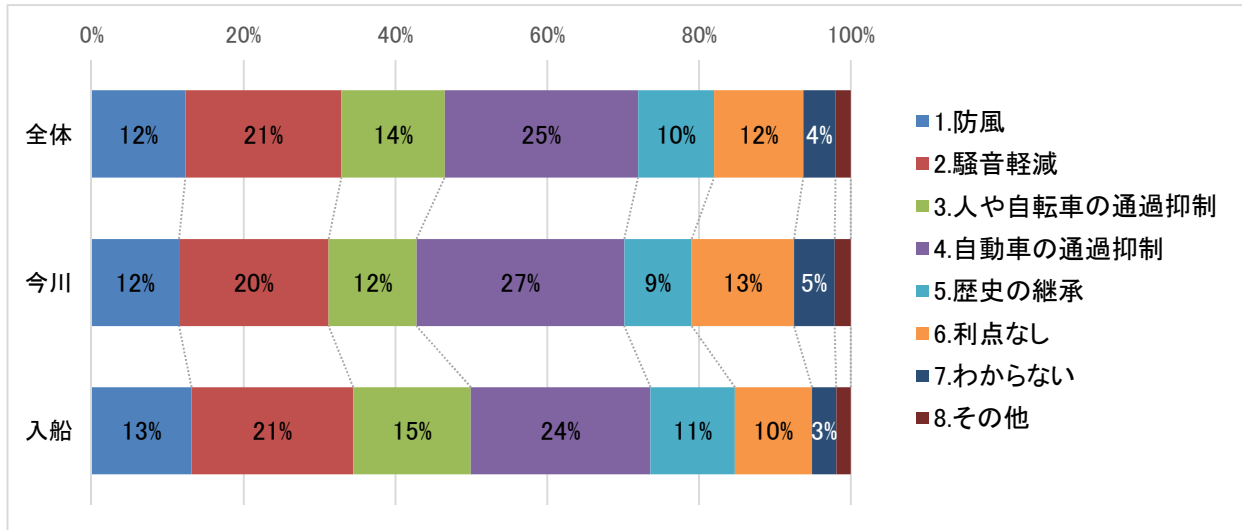
しかし、2番目に多い意見は、今川地区が「車による行き来が不便」であるのに対して、入船地区が「問題なし」と異なる傾向となっています。



**【問2】旧護岸が残っていることによる利点は何ですか？（複数回答：3つまで）**

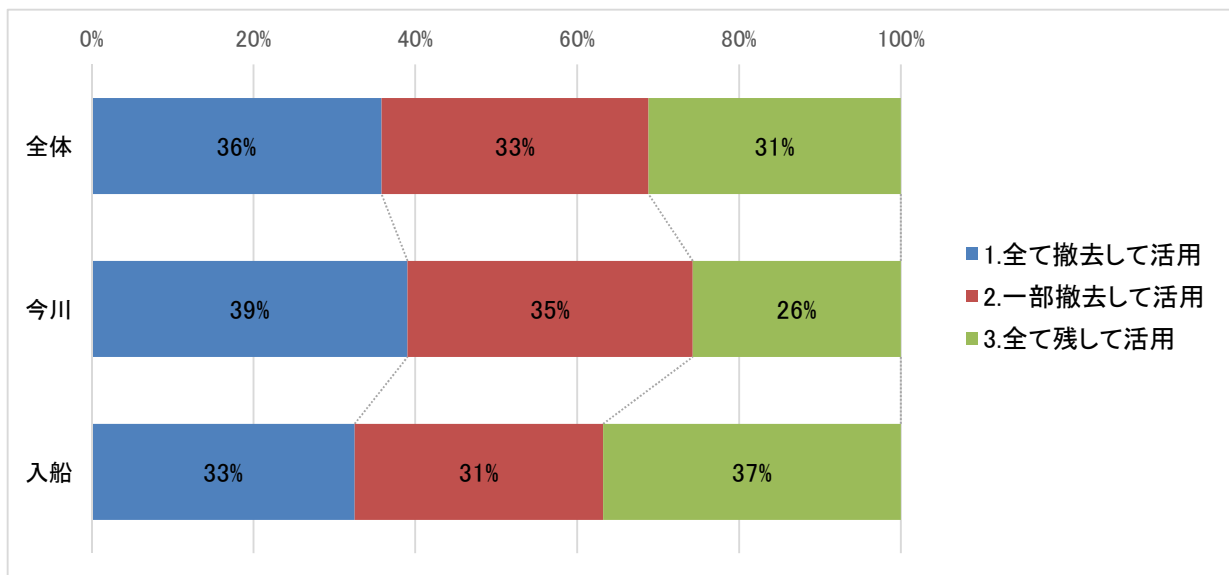
全体で最も多い意見は、「自動車の通過抑制」であり、2番目以降は「騒音軽減」「人や自転車の通過抑制」と続きます。

これは、今川地区・入船地区ともに同じ傾向となっています。



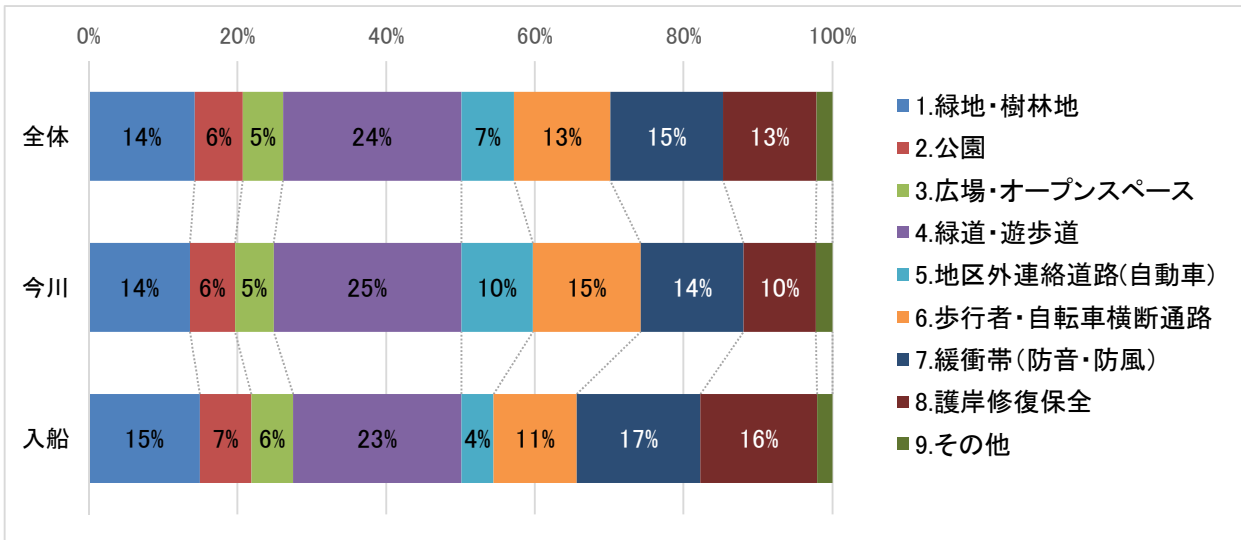
**【問3】旧護岸の取り扱いについてどのようにお考えですか？（1つだけ）**

「全て撤去して活用」「一部撤去して活用」「全て残して活用」の3つの意見が拮抗しています。



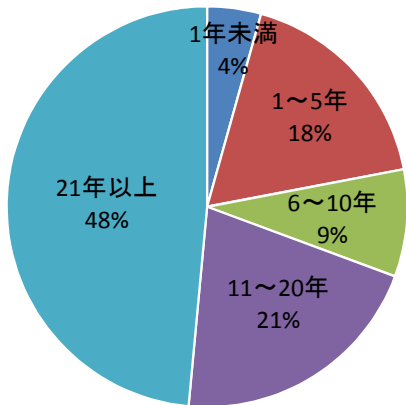
**【問4】 今後、どのような使い方が良いと考えていますか？（複数回答：3つまで）**

選択肢を大きく分けて傾向を見ると、「住民の憩いの場（選択肢1，2，3，4）」が全体の約5割、「地区間を行き来するための道路・通路（選択肢5，6）」が約2割、「防音・防風などの緩衝帯（選択肢7）」と「護岸の修復保全（選択肢8）」がそれぞれ約1割強となっています。

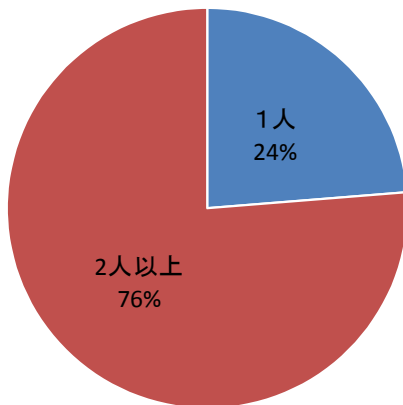


**3. アンケートに回答して頂いたのは次のような世帯です！**

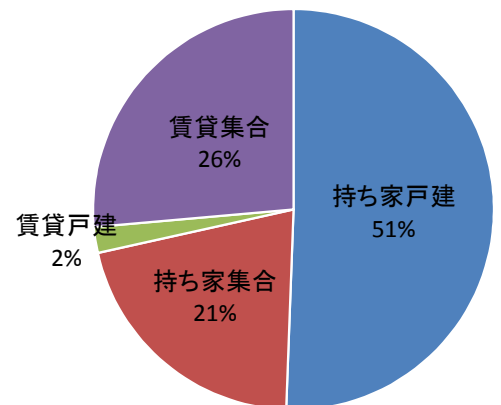
**【問5】 地域での居住年数**



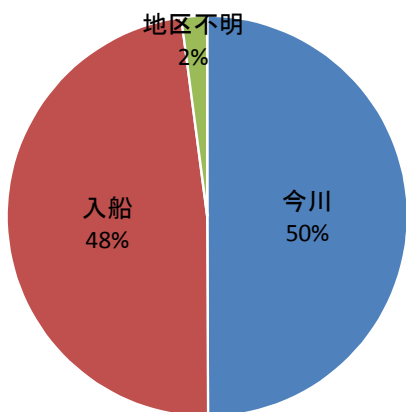
**【問6】 世帯人数**



**【問7】 住宅の所有形態**



**【問8】 居住場所**



アンケートへのご協力、誠にありがとうございました！

**お問い合わせ先**  
 浦安市 都市整備部 都市政策課  
 猫実1-1-1 tel: 047-712-6536 (直通)  
 e-mail: tosei@city.urayasu.lg.jp